



# 第 1 回検討委員会における 委員の意見について

## 事務局の全体的なまとめ

- 現時点で跡地活用は何も決まっていない。
- 委員からいただいた意見をまとめていくのが、検討委員会の役割。
- 財政効果を生み出す活用の検討。
- まちづくりの観点からの検討。
- 売却が決まっていることはない。本委員会でどのような手法が適切か方向性を導いていく。
- 会議のスケジュールは柔軟性をもって対応。

## 土地の雰囲気

- 歴史を感じる土地。
- 歴史が深い地。
- とても可能性のある場所。

## 検討の進め方

- 市民の気持ちを考えながら納得するような方向性を出す。
- 白いキャンパスに絵を描いていく。
- ゼロから作っていく。
- 現在関わっている活動を生かす
  - ・大学生とのイベントの開催
  - ・子供や保護者との関わり
- 未来に向けた話をする。
- すべてを100%織り込むのは難しい。

## 検討の視点

- まちづくりの視点がまずは大事。
- 人口が減少するという現実の中で、将来のまちづくりを考える。
- 習志野市は成熟した都市。
- 交流人口を増やしていく（外からの人の流れ）。
- 多世代がいきいきと楽しみ、文化を育てる仕掛けが必要。
- まち、人を元気にする。
- 市民に笑顔をもたらす。
- 旧庁舎跡地というピンポイントで考えるのではなく、広域的に考える。

## 機能のイメージ

健康、福祉、防災、スポーツ、音楽、イベント